

ACEF

2025年度 | 年次報告書
Annual Report 2025



2025年度夏のスタディツアー

特定非営利活動法人
アジアキリスト教教育基金

The Asia Christian Education Fund (ACEFエイセフ)



目次

ご挨拶 -----	3
ACEFのビジョン・ミッション -----	4
バングラデシュの人々との共働 -----	4
・BDP を通してのバングラデシュの初等教育支援---	5
・教育の質向上のための支援 -----	6
・BDPマイクロファイナンス事業の支援 -----	6
・国際協力への理解、参加を促進するための事業----	7
・サービスラーニングの受け入れ-----	8
・イベント-----	9
・学校・団体への講師派遣 -----	9
アジアの開発途上国に関する普及啓発事業 -----	10
組織基盤強化・改革の取り組み -----	10
役員・評議員のご紹介 -----	11
財務諸表 -----	12

船戸良隆先生を覚えて 理事：森 和博



昨年10月、天に召された船戸良隆先生は、1990年のACEF創設に携わり、事務局長、理事長として長くACEFの先頭に立って働かれました。ACEFの働きについて船戸先生は「ムーブメント」、ACEF運動として捉え、それは「アジアの人々の背負わされている問題を私たち自身の問題として捉え、アジアの人々から学びながら、今ある私たちの生活を問いつつ、まず私たち自身が変わえられること」と語っておられます。時代の変化の中で、船戸先生から託されたACEF運動をどうアップデートしていくかが問われています。



左から、BDP創設者のミナ・マラカル女史とACEF創設者の船戸良隆先生。ACEF初期のスタディツアーにて、BDPスクールにてお話をする船戸先生と現BDP事務局長のヘモント・コラヤ氏。



← 第1回ACEFバングラデシュスタディツアーの様子
(1990年)

ご挨拶

理事長：荒谷出



2025年度も皆様の祈りとご支援に励まされつつ、ACEFがバングラデシュの子どもたちや女性たちへの支援を続けることができましたことを、心より感謝申し上げます。

昨年度、ACEFは非常に悲しい出来事を経験いたしました。バングラデシュの人々と共に歩み、子どもたちや女性たちの自立支援を生涯の働きとして、長きにわたり情熱を注いでこられた創設者の一人、船戸良隆牧師が天に召されたことです。これまでのACEFの活動において、まさに原動力としてお働きくださった方でした。

大きな精神的支柱であり続けられた船戸先生の存在は、ACEFにかかわる私たちにとって、いつも大きな支えとなってきました。そして、人生をかけてバングラデシュの人々と深く関わってこられたその歩みが、私たちの励みとなっています。船戸先生を支えてこられたご家族のうえにも、神様の慰めが豊かにありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、2025年度のACEFは、スタディツアーの実施に加え、「尊厳ワークショップ」などの活動に取り組みました。バングラデシュと日本の双方が人間の尊厳への理解を深めることは、共に生きること、そしてアジアの隣人と共に働くことの意味を、より深い次元で教えてくれると信じ、この数年間注力してきた活動です。

今、その呼びかけに応えるように、若い人たちの間で自発的に「尊厳」への理解を深めようとする動きが始まっています。それに伴い、ACEF活動の意義を理解し、さまざまな活動に参加してくださる方が増えていることに大変励まされています。同時に、激しく変化する日本とバングラデシュの経済状況のなかで、今後の関係をどのように継続していくかという、本当に重い課題も突きつけられています。

このような状況だからこそ、たとえ社会が成長を遂げて、そこに取り残されてしまう人々に注目し、寄り添い続けるための方法を模索していかなければなりません。

今後とも、皆様のお祈りとご支援を心よりお願い申し上げます。

事務局長：柳原さつき



皆様からの応援にいつも励まされております。ありがとうございます。2025年度も、ACEFはバングラデシュそして日本国内で様々な事業を実施しました。バングラデシュでは、ジャマルプールでの教師研修実施と同時に、研修講師となる先生も養成しました。9割以上が女性であるBDPスクールの先生方のエンパワーメントを図っています。またスタディツアーでネトロコナを訪問したメンバーが中心になってクラウドファンディングを行い、サイクロンの被害にあった校舎が再建され、子どもたちの学習環境が大幅に改善されました。国内では、ユースミーティングが毎月開催されています。

ACEFがビジョンに掲げている「尊厳」をテーマにしたワークショップや講座、またユースの気楽なオンライン・カフェも開催され、ACEFならではの場が作られてきています。今年度も、応援をよろしくお願いいたします！

ACEFのビジョン

(私たちの目指す世界)

一人ひとりの尊厳が大切にされて共に生きる喜びを感じられる社会を目指します。

ACEFのミッション

(私たちの使命)

アジアの人々とのパートナーシップ・共働から共に生きることの実践を模索する。

未来の共生社会をつくりだす子ども・若者の可能性を開くための教育活動を支援する。

バングラデシュと日本とが学び合い、大人と子ども・若者がともに育つ場をつくる。

ACEFとBDPの36年のあゆみ

Basic Development Partners (BDP) とは、バングラデシュにて、貧しい都市や農村の未就学児も教育の機会へ参加できるように、1990年より初等教育の普及から活動を開始したNGO（非政府組織）です。医師として地域医療に関わってきた創設者のミナ・マラカル女史は、ACEFの創設者である船戸良隆氏と「全ての基本は教育」とであると意気投合し寺子屋活動を開始しました。ACEFはBDPとの関係を「共働者」と位置付けています。こうしたパートナーシップの関係にあることを敢えて意識的に口に出し実践する、それがこれまでの、そしてこれからのBDPとACEFとの関係です。このようなパートナーシップがSDGs時代の国際協力には必要であると考えています。

バングラデシュの人々との共働

ACEFとBDP、お互い工夫をしながらの教育活動の継続

【初等教育】2025年度は6地区32校で2,920名の子どもたち、そして130名の教師に対して初等教育の支援を行いました。また、教育の質向上の一環として進めている図書室設置校は、17校となりました。また2024年度に開始した学校菜園は、現在ネトロコナとジャマルプールで計8校がさつまいも栽培を実施しています。

【職業訓練】現在はミルプール地区において、コンピューター、縫製の2コースを開講しています。講師3名により開講され、受講生は計160名です。

【マイクロファイナンス】BDPスクールの子どもたちが初等教育を修了し、中等・高等教育への進学率が高くなるよう、母親を対象にしたマイクロファイナンス事業は継続実施中です。6地区で1,200名のメンバーが融資・貯金活動を行っています。

【国際理解促進】8月のスタディツアーを9名の学生とツアーリーダー、サブリーダーとともに実施しました。今回は久しぶりにネトロコナ訪問チーム、ジャマルプール訪問チームと2チームに分かれて、BDPスクールの子どもたちや先生たちとの交流を軸に、バングラデシュについての理解を深め、また日本での自分たちの生活を振り返る機会を得ました。

【普及・啓発活動】バングラデシュの手工芸品を介した啓発活動は、技術的な支援や新たなアイデアをBDP側に提供しながら活動を継続しています。2025年度は、これまでになく多くの学校や教会、その他支援者の皆さまからご要望をいただき、計45回のバザーでの啓発活動を行うことができました。

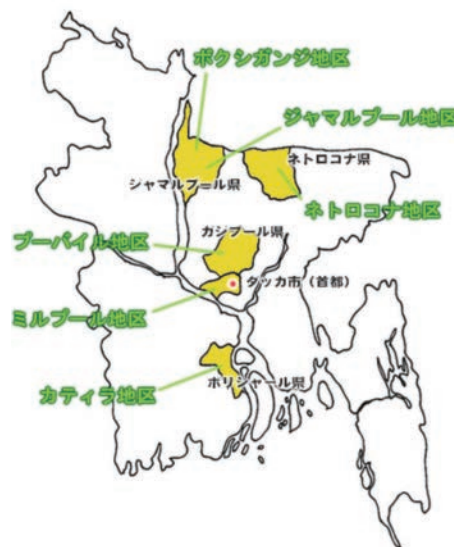


ノンフォーマル初等教育

BDP を通してのバングラデシュの初等教育支援

パートナー団体BDP（Basic Development Partners）が運営するノンフォーマル小学校では、就学前教室から5年生まで、現在2,920名の子どもたちが勉強を続けています。児童数は引き続き徐々に減少しているものの、新たに未就学教室が2つ増え（ジャマルプール地区）、先生の数も昨年度より5名増えました。以下、BDP小学校の現況です。（2026年3月31日現在）

- ・ 受益者：就学前教育・初等教育 2,920名（男1,433・女1,487、内就学前教育 816名）教師－130名
- ・ ノンフォーマル学校：6地区32校 児童総数2,920名
 - カティラ地区－3校 児童数129名
 - ミルプール地区－3校 児童数419名
 - プーバイル地区－8校 児童数633名
 - ネットロコナ地区－5校 児童数557名
 - ボクシガンジ地区－3校 児童数345名
 - ジャマルプール地区－10校 児童数837名



初等教育32校の運営の経費（主に教師給与と学校維持費）及びBDPの運営費のために以下の送金を行いました。

2024 年度実績	2025 年度予算	2025 年度実行額
USD	USD	USD
=7,500,000 円	=5,000,000 円	=5,000,000 円

教育の質向上のための支援

■ 教師研修

昨年度のプーバイル地区に引き続き、今年度はジャマルプール地区において、2025年11月に初等教育研修（講師：NPO法人学習創造フォーラムFiLCより2名、対象42名）と幼児教育研修（講師：NPO法人ケンパ・コミュニティ・ラーニング協会より1名、対象21名）を実施しました。今回も初等教育研修では、知識の詰め込み教育ではない「思考能力を高める」ための教授法を、また幼児教育研修では、子どもの身体の発達段階に合わせた「遊びを通した学び」の理論と技術を学びました。近年BDPによる研修機会があまりなかったこともあり、受講生の満足度は高かったようです。また同研修の今後の持続性を確保するために、研修講師育成のための研修（Training of Trainers：ToT）も行い、2名の先生が研修講師となりました。2026年度は、残るネットロコナ地区での教師研修の実施と、さらに研修ができる教師を増やすためのToTを実施したいと考えています。



←2025年11月の
初等教育研修／幼児教育
研修

※本事業は、公益財団法人愛
恵福祉支援財団からのご支援
により、実施しました。

■ 図書室設置

現在までに、以下17校のBDPスクールで図書室設置が完了しています。個人から図書室指定のご寄付をいただいたこともあり、全校への設置に向けて大きく前進しました。

- ・ サチムリア BDP 小学校（カティラ）
- ・ ショモルシン BDP 小学校（プーバイル）
- ・ チャムダ BDP 小学校（プーバイル）
- ・ バニアバリBDP小学校（プーバイル）
- ・ ロックンディABDP小学校（プーバイル）
- ・ ラルクティ BDP 小学校（ミルプール）
- ・ モニプール BDP 小学校（ミルプール）
- ・ カジパラBDP小学校（ミルプール）
- ・ ウェスト・バスチャラ BDP 小学校（ジャマルプール）
- ・ ジャミラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ジャドゥモラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ビシュノプールBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ スルジョナゴル BDP 小学校（ボクシガンジ）
- ・ ソアリカンダ BDP 小学校（ネトロコナ）
- ・ ノワパラBDP小学校（ネトロコナ）
- ・ ベタティジャラパールBDP小学校（ネトロコナ）
- ・ シムラティBDP小学校（ネトロコナ）



←ジャドゥモラBDP小学校



ジャミラBDP小学校 →



■ 学校菜園

昨年度に引き続き、ネトロコナ地区とジャマルプール地区で学校菜園プロジェクトを実施しています。サツマイモ栽培から始めていますが、最近は自分たちで育てたい別の野菜を育てている学校もあるようです。クラウドファンディングによるご支援もあり、現在までに以下の8校の学校で学校菜園が始まっています。BDPとしては、今後はコミュニティ全体にも広げていきたいとのことです。

- ・ ノース・ボイタマリ・ウタパラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ジャドゥモラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ジャミラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ウェスト・バスチャラBDP小学校（ジャマルプール）
- ・ ソアリカンダBDP小学校（ネトロコナ）
- ・ ベタティジャラパールBDP小学校（ネトロコナ）
- ・ ノアパラBDP小学校（ネトロコナ）
- ・ チョリスカハニアBDP小学校（ネトロコナ）



↑生徒たちによる苗付けの様子。

BDPマイクロファイナンス事業の支援

2025年度も1,200名の主に母親たちが、マイクロファイナンス事業に参加しました。クレジットオフィサーを担うBDPスクールの先生方が資金のまとめ役となり、引き続き貯金や融資活動をしています。スタディツアーでは、プーバイルの活動の様子を見ることができました。



←ヤギを育てて売り、資金を得ている。
動物を育てるのは楽しいとのこと。

夫と共に雑貨店を営む。→



国際協力への理解、参加を促進するための事業

2025年度も対面とオンラインで若者の育成を含めた国際協力への理解や参加促進に関する事業として、以下の各事業を実施しました。

(1) サービスラーニングの受け入れ

- **ICU-SL:** 国際基督教大学（ICU）の授業プログラムのサービスラーニングの学生を延べ3名受け入れ、学生がACEFの活動に参加し、役割を担う中で学びました。

時期	人数	活動内容
春学期（4-7月）18時間 GE	3名	オンラインと対面活動（SNS広報・現地協力スタッフとのミーティング）、尊厳フィールドワーク実施、ICU学食にてバンラデシュのメニュー（ビリヤニ）を企画、また学食にてハンディクラフトの紹介パネルを展示。

GEは一般教養科目の18時間の奉仕を含む短期。COMは活動日数30日の長期。

- **AGU-SL:** 今年度は青山学院大学（AGU）の授業プログラムのサービスラーニングの学生を延べ3名受け入れ、学生がACEFの活動に参加し、役割を担う中で学びました。

時期	人数	活動内容
春学期（4-7月）18時間 GE	3名	青山学院初等部にて、計4回の授業を実施。バンラデシュやACEFとBDPの活動について紹介し、小学生と一緒にBDPスクールの学校菜園で収穫されたさつまいもを使ったレシピを考えるアクティビティを実施。

(2) オンラインイベント

- **シェアリングのタベ** 4月22日（火）・5月26（月）

オンラインで集まり、静かな中で心を整えたり、悩みを分かち合ったり、励ましあったりする時間を持ちました。

- **現地インターン報告会** 6月30日（月）

2024年11月～2025年3月までバンラデシュにて現地インターンとして活動された山田明日見さんの報告会を実施しました。

(3) 対面イベント

- **尊厳フィールドワークin全生園** 6月8日（日）

東京都東村山市にあるハンセン病患者の療養施設である国立療養所多摩全生園資料館を訪問し、ICUのサービスラーニング生とユースが主体となりフィールドワークを実施しました。

- **対面ユースイベント** 10月10日（金）

普段はオンラインで実施しているACEF Youthのミーティングを対面で実施しました。今回は皆でともにカレーを食べながら、KJ法を用いて「尊厳」と聞いて思い浮かべることを書き出し、イメージ分析を行いました。



↑ ↓ BDPスクールの生徒が描いた絵



● **グローバルフェスタ2025** 9月27日（土）、28日（日）

様々な国際協力団体が参加するグローバルフェスタに出店しました。夏のスタディツアーメンバーとユースが集まり、ブースでのハンディクラフトの紹介などを通して、ACEFやBDPの活動についてより多くの人に知っていただきました。

● **2025年ACEF秋のセミナー** 11月29日（土）

第1部では夏のバングラデシュスタディツアー報告会を実施。第2部ではバングラデシュにて経験した「尊厳」についてスタディツアーメンバーが課題提供し、会場・オンライン参加者とともに分かち合いの時間を持ちました。

● **テゼの祈り** 2月28日（土）

忙しい普段の生活から一歩離れて、静かに黙想する時間としてテゼの簡単な歌を歌い、聖書のみ言葉に耳を傾け、痛み多い世の中のために祈りを合わせました。ジェフリー・メンセンディーク理事がリードを担当しました。



←Global Festa Japanにて



対面Youth→

（４）ACEF Youth

【ACEF Youth ミーティング】

サービ斯拉ーニング、イベントや、ボランティアなどで関わりのあった有志の学生でミーティングを定例化しました。（カッコ内は参加人数）

- 4月27日 第21回ミーティング（11名）ZOOM
- 5月31日 第22回ミーティング（8名）ZOOM
- 6月28日 第23回ミーティング（8名）ZOOM
- 7月26日 第24回ミーティング（6名）ZOOM
- 8月31日 第25回ミーティング（11名）ZOOM
- 9月21日 第26回ミーティング（7名）ZOOM
- 10月10日 第27回ミーティング（6名）対面
- 11月8日 第28回ミーティング（2名）ZOOM
- 12月13日 第29回ミーティング（12名）ZOOM
- 1月17日 第30回ミーティング（9名）ZOOM
- 3月14日 第31回ミーティング（10名）ZOOM



【ボランティア活動】

一年を通じて、対面とリモートのさまざまなボランティア活動を行い、多くの方々にご協力いただきました。

- ベンガルティーセット作り
- ハンディクラフトの値札付け、ポップ作り
- 広報ボランティア（SNS投稿作成など）
- バザーやイベントでのお手伝い
- 事務局作業のお手伝いなど



【クラウドファンディング実施】2025年11月1日～2026年3月31日

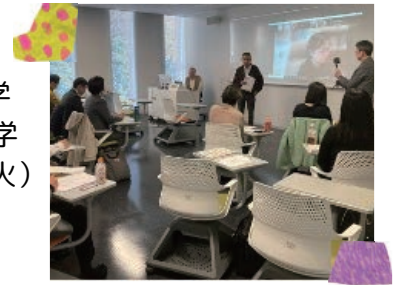
「大型サイクロンで被災したバングラデシュの小学校を再建したい！」

かつてスタディツアーで現地のネトロコナに行ったことのある方々を中心に、多くの方々からご賛同いただきました。

（５）尊厳教育カフェ／ワークショップ

ACEFのビジョンにも掲げている「尊厳」について、理事のジェフリー・メンセンディークさん（「尊厳リーダーシップ」（原題 Leading with Dignity）を翻訳）と尊厳インターンの宮内しおんさんとACEF Youthによるワークショップやイベントを開催しました。各々の日常を振り返りながら、「自分にとっての大切」をあらためて見直し、自分や他人の尊厳がいかに傷つきやすく、かつ大切なものを学ぶ機会を得ました。

- ・ 8月31日（日） 尊厳シェアリング @SCF
- ・ 6月7日（土） 尊厳ファシリテーター養成講座 於：桜美林大学
- ・ 11月30日（日） 尊厳ファシリテーター養成講座 於：桜美林大学
- ・ 4月26日（土）・5月27日（火）・6月28日（土）・7月15日（火）
・ 9月14日（日）・9月21日（日）・10月21日（火）
・ 11月16日（日）12月27日（土）・1月26日（月） 尊厳カフェ
- ・ 7月25日（金）・2月21日（土） 尊厳カフェスペシャル
- ・ 2月11日（水） 尊厳カフェ＋プラス



↑ 尊厳ファシリテーター
養成講座

（６）学校・団体への講師派遣

関係する学校・団体からの講演依頼を受け、講師を派遣しました。

	月 日	学校・団体/場所	講 師
1	4 月 23、24 日	女子聖学院中学・高等学校礼拝	柳原さつき事務局長
2	5 月 1 日	青山学院大学サービスラーニングレクチャー	柳原さつき事務局長
3	5 月 19 日	青山学院大学河見ゼミ	柳原さつき事務局長
4	5 月 20 日	女子学院中学校高等学校礼拝	西村幹子理事
5	6 月 16 日	昭島幼稚園ミナ友の会	柳原さつき事務局長
6	7 月 12 日	専修大学夏期合同ゼミ 尊厳ワークショップ	柳原さつき事務局長
7	8 月 7 日	中高 YWCA 全国カンファレンス	柳原さつき事務局長
8	9 月 3 日	早稲田教会正午礼拝	ジェフリー・メンセンディーク理事
9	1 月 20、21 日	女子聖学院中学・高等学校（献金贈呈式）	柳原さつき事務局長
10	1 月 29 日	ベテル幼稚園年長組	柳原さつき事務局長
11	2 月 9 日	昭島幼稚園エイセフボランティアの会	柳原さつき事務局長
12	3 月 10 日	農伝神学生事務所訪問	柳原さつき事務局長
13	3 月 28 日	ハチドリ電気活動報告会	柳原さつき事務局長



アジアの開発途上国に関する普及啓発事業

(1) 広報：ニュースレター発行、Webサイト、SNSでの情報発信

・ ACEFニュースレターの配信：No.54～76

ACEFニュースレターを毎月2回に分けて配信しました。読者の皆様よりニュースレターについてのフィードバックをいただき、より読みやすく、ACEFに親近感を覚えていただけるような構成になるよう工夫しています。ACEF関係者をはじめ、バングラデシュと関わりのある国際NGOの方々など数多くの方々に巻頭言をご寄稿いただきました。また、1年を通してACEFの活動をタイムリーにお届けしましたニュースレター登録はこちらのQRコードをお読み取りください。

◦ またはこちらから→<https://acef.or.jp/email-magazine-registration/>



・ 支援者管理システムGOENの活用

GOENのメール管理システムを通して、ACEFの支援者の皆さまによりスムーズにメールでのご連絡やご案内をお届けすることが可能になりました。

・ SNSでの情報発信

活動の多くをFacebookやInstagramなどのSNSを通して発信しました。また、尊厳グループの活動をはじめ、ファンドレイジングのキャンペーン期間などの機会に合わせて、幅広い世代にACEFを知ってもらえるように努めました。

・ その他広報サイトへの掲載

ACEFのイベント案内やスタディツアーの呼びかけなど、広報サイトのPRタイムズ、JANICインフォメーション、バングラデシュのニュース連絡網、またJICAパートナーなどを活用して発信しました。

(2) バングラデシュ手工芸品の紹介、提供

2025年度は計45回のバザーやイベントを通じて、多くの方々にバングラデシュから仕入れた品物を手に取っていただくことができました。昨年に引き続き、グローバルフェスタ等でのバザーを実施したほか、新たな団体・個人からのお声がけもいただき、これまで以上に幅広い層の方々にACEFの活動を知っていただく機会となりました。また、会館クリスマスバザーを全国教会婦人会連合の皆様と共同で行うことで単独開催よりも多くの人にご来場いただきました。さらに、事務所の窓に掲示した案内をご覧になり立ち寄ってくださる方も増え、日常的な接点も広がっています。今後もより一層活動を広めていくため、カタログの更新やバザーへの出店を積極的に行ってまいります。

組織基盤強化・改革の取り組み

ACEF・BDP間の覚書締結

日本・バングラデシュ両国における大きな社会・経済状況の変化と、ACEFの厳しい経済状況を踏まえ、ACEFとBDPはその共働の中で、今後5年間それぞれが責任とイニシアチブをもって進める活動について明文化し、覚書として交わしました。



理事会・評議員会開催記録

月日	理事会・評議員会	主な審議事項／協議事項	場所
2025年 4月27日	第1回定例理事会	第36回社員総会開催、2024年度事業報告・決算報告、2025年度活動計画・予算	オンライン (Zoom)
7月20日	第2回定例理事会	スタディツアー実施、教師研修実施、事務局出張	オンライン (Zoom)
7月27日	第1回評議員会	スタディツアー実施、事務局出張	オンライン (Zoom)
9月21日	第3回定例理事会	BDPとの今後のパートナーシップ、教師研修実施（ジャルプール）、事務局出張	オンライン (Zoom)
11月23日	第4回定例理事会	BDPとの今後のパートナーシップ（継続）	オンライン (Zoom)
2026年 1月18日	第5回定例理事会	2025年度決算・2026年度予算、第37回社員総会開催、BDPとのMoU	ハイブリッド
3月15日	第2回評議員会	2025年度決算・2026年度予算、第37回社員総会	オンライン (Zoom)

役員・評議員のご紹介

理事長	荒谷 出	評議員	安部 由紀子	塚本 潤一
副理事長	野村 正宣		上野 峻一	都築 昌子
財務委員長	天野 海走		小田 哲郎	徳田 有希子
理事	井上 儀子		岸 ひかり	長尾 有起
	小田理一郎		古賀 博	福嶋 祐子
	河見 誠		佐藤 飛文	本間 智子
	佐野 正子		菅原 陽子	松本 周
	野田 沢		関口 弘美	山口 旬
	ジェフリー・メンセンディーク		高橋 満	山田 明日見
	森 和博			
	柳原 さつき			
監事	大江 浩			
	桃井 明男	顧問	田坂 興亜	

財務諸表

貸借対照表（2026年3月末現在）

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金

[税込]（単位：円）

2026年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		預 り 金	118,586
普通預金 本会計	1,251,515	所得税	(53,786)
普通預金 三井住友	1,778,201	住民税	(64,800)
現金 通常	194,792	流動負債 計	118,586
現金 円	(61,742)	【固定負債】	
現金 ドル	(100,330)	退職給付引当金	1,368,000
現金 タカ	(32,428)	固定負債 計	1,368,000
現金 パーツ	(292)	負債合計	1,486,586
干振替 通常	138,907	正 味 財 産 の 部	
干振替 免除口座	163,650	【正味財産】	
普通預金 隅谷/和田基金	1,634,571	前期繰越正味財産額	4,326,753
普通預金 退職引当預金/ST	1,368,000	当期正味財産増減額	718,328
現金・預金 計	6,529,636	正味財産 計	5,045,081
（棚卸資産）		正味財産合計	5,045,081
貯 蔵 品	2,031		
棚卸資産 計	2,031		
流動資産合計	6,531,667		
資産合計	6,531,667	負債及び正味財産合計	6,531,667

活動計算書（2025年4月～2026年3月）

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金

[税込]（単位：円）

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

活動計算書			経常収益の内訳		
科 目	前年度 2024年4月 ~2025年3月	当年度 2025年4月 ~2026年3月	科 目	前年度 2024年4月 ~2025年3月	当年度 2025年4月 ~2026年3月
経常収益 計	30,398,411	28,421,934	経常収益 計	30,398,411	28,421,934
BDP送金	13,124,981	8,304,906	受取会費	5,227,500	4,641,000
その他	13,699,902	14,620,489	受取寄付金	16,677,844	16,652,823
事業費 計	26,824,883	22,925,395	受取助成金等	6,840,000	4,150,000
管理費 計	4,444,460	4,778,211	事業収益	1,613,200	2,955,792
経常費用 計	31,269,343	27,703,606	その他収益	39,867	22,319
当期経常増減額	▲ 870,932	718,328			
当期正味財産増減額	▲ 870,932	718,328			
前期繰越正味財産額	5,197,685	4,326,753			
次期繰越正味財産額	4,326,753	5,045,081			

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 (ACEF)

理事長 荒谷 出 様

2026 年 4 月 23 日

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金

監 事 桃井明男



監 事 大江 浩



私たち監事は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金の 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの事業年度の監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び評議員の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会及び評議員会に出席し、必要と認める場合には、質問及び意見を述べました。

また、経営及び財産の状況に関する監査にあたっては、会計帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

2 監査意見

監査結果、法人の業務は、法令及び定款並びに事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は、一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たち監事は、上記の事業報告及び計算書類が、特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金の 2026 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行及び経営状況並びに同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

(一社) 非営利組織評価センター (JCNE) グッドガバナンス認証取得
市民参加の度合い、環境への配慮、財務・会計、社会への情報発信など組織運営に関わる27の評価基準を審査し認証。非営利組織の信頼性の証。

グッドガバナンス認証については、以下をご覧ください。
https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



グッドガバナンス認証

2026年度もACEFの活動を引き続きお支えください

バングラデシュでの共働事業（パートナー団体BDPが実施する事業の支援）

- ノンフォーマル教育支援
引き続き2,920名の就学前～小学5年生までの子どもたちが学びを続けられるように、学校の運営・行事、教師の雇用に係る費用を支援します。
- 教育の質の向上
毎年行われる教師研修では、子どもたちに考える力をつける学習指導法をBDPの小学校の先生たちに学んでもらっています。BDP小学校に図書室や学校菜園を設置し、読書の習慣や食育について考えるきっかけを作っていく試みを続けます。また、校舎の改修など学習環境の改善も進めます。
- 職業訓練教育
現在2箇所で行なっている「縫製」「コンピューター」の各コースが持続的に運営でき、卒業生が企業、就職できるように支援します。民間企業とのパートナーシップも推進していきます。
- マイクロファイナンス・女性のエンパワーメント
小口融資を受けてBDP小学校児童の母親が起業し現金収入を得ることで、生計向上を図りながら子どもの教育に投資するという、持続的な教育支援の仕組みを作ります。

日本の子ども・若者の育成、大人との学び合い（アジアの課題に関心を持つ人材の育成）

- バングラデシュスタディーツアー
2026年8月に夏のスタディーツアーで高校生と大学生を中心にグループで現地訪問します。
- 尊厳教育・SDGs
ビジョンの実現に向けて「尊厳」を大切にするためのワークショップや研修を提供します。また、学校や団体、企業むけにSDGsの学びの一環としてバングラデシュを事例に講演、ワークショップを開催、また講師派遣を行います。

会員になってACEFの活動を支援

- | | | |
|--------------|--------|---------|
| ● 団体会員 | 年額1口 | 50,000円 |
| ● 個人会員 | 年額1口 | 7,500円 |
| ● 学生会員 | 年額1口 | 2,000円 |
| ● マンスリーサポーター | 月300円～ | |
| ● 一時寄付 | 随時 | 金額自由 |

物品寄付で支援

郵送費用のために未使用切手、書き損じハガキを事務局にお送りください。文房具（鉛筆、ボールペン、ノートなど。新品に限る）のご寄付もお待ちしております。

◎郵便振替（会費）

記号・番号：00100-0-185540
加入者名：アジアキリスト教教育基金

◎郵便振替（寄付）

記号・番号：00110-1-515789
加入者名：アジアキリスト教教育基金

◎銀行口座

銀行・支店：三井住友銀行 高田馬場支店
口座番号：普通口座 4568618
口座名義：トクテイイリカツウホウジンアジアカリストキョウキョウイクキン

銀行・支店：三菱UFJ銀行 高田馬場支店
口座番号：普通口座 1543149
口座名義：トクテイイリカツウホウジンアジアカリストキョウキョウイクキン

申し訳ございませんが手数料をご負担ください。

◎クレジットカードでも受け付けております。詳しくはWebサイトをご覧ください
<https://acef.or.jp/your-menu/donate/>

その他にも様々な支援の方法があります。

★自然電力に切り替えて
電力料金の1%を寄付



★携帯電話料金の支払いと一緒に
寄付もできます（SoftBank）

★家にねむっている「お宝」で募金
貴金属からテレカ・商品券、骨董品
まで、眠っている品で ACEF に寄付



★古本チャリティ募金で
ACEF を支援

詳しくは、ACEF のホームページ「あなたにできること」
<https://acef.or.jp/your-menu/other-support/>

スペシャルギャラリー

ACEF・BDPあゆみを振り返って



ACEFとBDPがスタートした時は、地べた座って黒板を使って学ぶ青空教室でしたが、今はノートとペンを使って、長机に座って勉強しています。



校舎の外で元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿は、昔も今も変わりません。



スタディツアーの交流の中で、いつも大人気な折り紙。楽しく一緒に工作しましょう！



スタディツアーの中でも大人気のボートトリップ、大きな太陽が沈むのを歌声と共に船から眺めるあの気持ち、覚えていますか？



最近では職業訓練だけでなく、BDPスクールの先生方のスキルアップ研修を積極的に取り入れています。





2025年度 年次報告書

特定非営利活動法人

アジアキリスト教教育基金

The Asia Christian Education Fund (ACEFエイセフ)

住所 〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18-26
Email acef@acef.or.jp
Webサイト <https://www.acef.or.jp>
電話 03-3208-1925
FAX 03-6278-9180

 @acef.ngo

 @ACEF_NGO

 @acefnpo7949

 @The Asia Christian Education Fund



発行日：2026年7月 発行責任者：荒谷出 編集責任者：柳原さつき 印刷：巴工芸株式会社